

HAZARDOUS SUBSTANCE

info **BITC**

ナフサの送液に不可欠な Hydra-Cell®の シールレス構造

ロッキー山脈地域最大の製油施設では、ナフサのリフォーミングは、高オクタン価のガソリンまたはガソリン基材を製造するのに不可欠です。可燃性で、沸点範囲の狭い蒸留液であるナフサは危険物質として分類されるため、送液にはいくつかの課題があります。

ナフサは低粘度の非潤滑性液体であり結晶を形成し得るため、この処理は、漏れを生じる動的シールを備えたポンプや内部が精密公差に頼るポンプを使用すると問題が発生します。

1日に80,000バレル以上の原油を処理するこの製油所は、このような課題に対応するため、Hydra-Cell T100 中圧ポンプを導入しました。シールレスな設計と精密公差には頼らない構造により、Hydra-Cell は低粘度の非潤滑性液体を結晶化せずに処理できます。パッキンがないため、Hydra-Cell は外部リークの問題も発生しません。改質装置の反応中、T100 は間欠で運転されます。

WANNER
Hydra-Cell[®]
Seal-less Pump Technology



型式 : T100KRSGHFEP
流量 : 170 LPM
圧力 : 15.8 MPa
用途 : 製油所で高オクタン価ガソリンを生成するための改質工程で使用される、ナフサ（有害物質）の送液

www.sanko-ltd.co.jp